

岩手県金融経済概況（平成 27 年 4 月）

1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は、雇用・所得環境の改善もあって、総じて底堅く推移している。住宅投資、公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、増加している。

生産は、持ち直しに転じている。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、総じて底堅く推移している。

百貨店売上高（平成 27 年 4 月）は、6 ヶ月振りに増加した（前年比+1.8%）。

スーパー売上高（平成 27 年 3 月；全店舗ベース）は、前年 3 月の大幅増加（平成 26 年 3 月 前年比+13.6%）の反動減もあって、9 ヶ月振りに前年対比で減少した（前年比△9.9%）。

新車登録・届出台数（平成 27 年 4 月）は、4 ヶ月連続で前年比マイナスとなった（登録車+軽 前年比△19.8%）。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（平成 27 年 4 月）は、高水準を維持している（前年比△1.7%）。

新設住宅着工戸数（平成 27 年 3 月）は、持家（前年比+3.8%）、貸家（同+39.2%）が増加したものの、分譲における前年集中着工（平成 26 年 3 月 分譲 前年比 2.5 倍）の反動減（平成 27 年 3 月 同△68.7%）から、全体では、前年対比でマイナスとなった（前年比△15.0%）。

民間設備投資（短観ベース；平成 26 年度実績見込み、平成 27 年度計画）は、全

産業ベースで前年を上回っている。

県内の官民建設工事全体の出来高（建設総合統計）は、平成 24 年 2 月以降 38 ヶ月連続で前年比プラスとなっている（平成 27 年 3 月前年比+5.4%）。

3. 生産動向

鉱工業生産指数（季節調整値）は、前期比ベースで 2 四半期連続プラスとなるなど、持ち直しに転じている（平成 26 年 7～9 月 前期比 0.0% → 10～12 月 同 +2.4% → 平成 27 年 1～3 月<速報値> 同+4.8%）。

—— 平成 27 年 3 月（速報値）は、前月比△4.4%（7 ヶ月振りのマイナス）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値）は、平成 25 年 5 月以降 23 ヶ月連続で 1.00 倍以上を維持している（平成 27 年 3 月 1.11 倍）。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査）は、平成 24 年 3 月以降 37 ヶ月連続で前年比増加している（平成 27 年 3 月前年比+0.8%）。

名目賃金指数は、増加地合いを辿っている（平成 27 年 3 月 前年比+8.3%）。

雇用者所得（県内合計値）は、増加している（平成 27 年 3 月+9.0%）。

5. 企業倒産

企業倒産（平成 27 年 4 月）は、5 件、16.0 億円となった（件数、金額共に、前年対比で増加）。

6. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金、貸出は、前年を上回って推移している。貸出約定平均金利は、低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>